

市政記者各位

平成31年4月25日

～介護現場の負担軽減と人材不足解消を目指して～

積極的に経営改革・業務効率化を行う 介護事業者を募集します！



介護現場の負担軽減と人材不足解消を目指し、次の2つの事業に参画する介護事業者・法人を募集しますので、広報へのご協力をお願いいたします。

① 介護業務の切り分けや介護ロボット導入を継続支援

積極的に業務改善を目指す、**モデル事業所（3か所）**を募集します。対象の事業所に、**業務の切り分け・切り出し、介護ロボット・IoTの導入**を支援する、経営コンサルタントを**無料**で派遣し、介護職員が働きやすい職場づくりを継続してサポートします。

募集締切：2019年5月31日（金）17時



ご応募
お待ちしております。
おります。

② 介護の経営力強化研修 ～トップマネジメント限定！

介護の経営力強化のための**連続講座（計10回）**に参加する**経営者50名**を募集します。**人・組織、サービス、財務等のマネジメントを体系的に学び**、事業所・法人内の経営改革・業務効率化に繋ぐとともに、今後、業界を引っ張っていく**経営者グループ**を育成します。

募集締切：2019年6月24日（月）17時

一緒に職場
環境の改善を
目指しましょう



現在進行中の『福岡100』
アクションはこちら

【問い合わせ先】

保健福祉局高齢社会部
高齢社会政策課（福祉人材係）

担当：倉貫^{くらがわ}、山下

TEL：092-711-4595（内線：2125）

FAX：092-733-5587

皆様の
ご応募

お待ちしております！

経営コンサルタントを【無料で】派遣

積極的に業務改善を目指す モデル介護事業所を募集します！

積極的に業務改善を目指す、モデル事業所（3か所）を募集します。
対象の事業所に、業務の切り分け・切り出し、介護ロボット・IoTの導入を支援する、経営コンサルタントを無料で派遣し、介護職員が働きやすい職場づくりを継続してサポートします。

1. 対象となる事業所・法人及び要件など

応募要件：福岡市の指定介護サービス事業所を運営する法人
 ※申込みは法人単位、モデル事業の実施は事業所単位です。
 ※職員数50名～100名程度の規模での実施を想定しています。
 ※1法人1事業所でも結構です。

実施件数：3法人（3か所）を予定

応募
要件

- 1、法人として、本事業の目的に賛同して頂くこと。
- 2、コンサルティング状況について、他事業所への情報共有に協力いただけること。
- 3、トップが率先して、職場改善に積極的に取り組んでいただけること。

募集締切 2019年5月31日(金)／17:00迄

詳細・申込方法は、裏面をご覧ください！



2. 介護業務切り分けおよび介護ロボット・IoT導入支援モデル事業とは？

この事業は、現在、専門職にとって過重な負担となっている付帯業務の切り分け・切り出しと、その業務の効率化に関する継続的なコンサルティングを行うことで、今後、介護事業所において高齢者・障がい者等の雇用や短時間での雇用、あるいは機械化など、（ロボット・IoTも含めた）多様な担い手による多様な働き方を可能にし、同時に、専門職がやりがいを持って働ける環境を整えるモデルケースをつくることを目指しています。

具体的には、本事業への参加を希望する事業所の中から3カ所をモデル事業所として選定し、そこへ年間を通して継続的にコンサルタントを派遣し、経営改革や業務改善に向けた具体的アドバイスと、現場の改善プロジェクトの企画・実施支援などの進捗管理支援を行います。

なお、改革・改善プロジェクトの企画・途中経過及び成果は、他の事業所にも共有・周知し、実施内容の効果検証を行ったうえで報告としてまとめ、他事業所・法人における取り組みに繋いでいきます。

3. 募集期間・支援期間

募集期間：2019年4月25日(木)～5月31日(金) ※最終日の17時まで

選定期間：2019年5月13日(月)～6月14日(金)

モデル事業所決定発表：2019年6月21日(金) ※当日決定者に通知

モデル事業所支援期間：2019年6月下旬～2020年3月末日



4. 応募方法・モデル事業所選考について

STEP 1



左記のQRコードからお申込ページに入ってください、入力をお願い致します。

STEP 2

誤入力が無いことを確認頂き、フォーム送信をお願い致します。

STEP 3

下記事務局より申し込み完了のメールが届くのをお待ち下さい。（土日祝日をまたぐ場合は、翌営業日中には送信いたします。）

選 定

①電話ヒアリング選定を実施
※おおむね10者を選定
↓
②訪問面談選定を実施
※3者を選定

※選定結果につきましては、事業FB(フェイスブックページ)にて、2019年7月上旬を目処に公表いたします。
※選定結果に関するお問い合わせには、お答えできませんので、あらかじめご了承下さい。

【 お問い合わせ先 】 ☎092-434-3166

地球人.jp株式会社 運営事務局 佐藤

営業日：月～金 10:00～17:00 (土日祝日除く)  地球人.jp



※本事業は福岡市より受託を受けた地球人.jp株式会社が運営しております。

〔 福岡市担当部署：福岡市保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課 福祉人材係 旧)介護保険課福祉人材検討担当 (H31年度より組織変更) 〕

～福岡市主催～ 介護事業所向け 経営力強化研修

本研修は、トップランナーの経営者を輩出していくことを目的とし、福岡市が企画立案したものである。
福岡市指定介護サービスを提供する介護事業所の経営者および経営候補者を対象に、意識改革や総合的なマネジメント力を強化し、職場環境や職員の処遇改善につなげることで、職員の定着および新たな人材の確保を図ることを目的とする。

▶ 対象層・定員・料金・会場

対象層：トップマネジメント

または将来トップマネジメントを担う方

定員：50名

**料金：連続講座全10回で ¥50,000
(¥150,000相当の講座内容！)**

会場：リファレンス駅東会議室（福岡市博多駅東1-16-14）

時間：各回4時間を予定

申込締切日：2019年 6月24日(月)17:00まで

※受講料は、原則として、すべてを受講するパッケージ料金です。
いずれかの講座に参加できなかった場合につきましては、講座のテキストと動画をお送りいたします。参加できない場合は、事前にご連絡ください。

主催：福岡市

委託先：株式会社 日本経営

➤ 研修の特徴

1. 網羅的に経営スキルを学ぶ

本事業では「財務の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」の4つの視点に基づいて、プログラムを構成しております。経営における重要な考えを網羅的に学んでいただき、経営者として必要なスキルを習得してもらいます。

2. 「理論と実務」両面から理解する

講義のみではなく、ワーキングの時間も多く取り入れます。講義でインプットした理論を、ワーキングにてアウトプットすることで、研修内容の理解を最大限に深めます。

3. 本気のお互い試合とコミュニティづくり

本研修は、福岡市指定の介護事業所の経営者層を対象としています。経営者同士での議論を通じて、それぞれのアイデアを掛け合わせることで、イノベーションを起こしていきます。また、参加者同士で関係性を深め、研修後もサポートしあえる状態をつくりまします。

➤ お問い合わせ先（委託先）

株式会社日本経営 福岡オフィス
〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東1-11-5 7階
電話番号：092-409-4466(担当：高比良)

申込：下記のWEBサイトからお申し込みください。

URL：<http://ur0.biz/we9f>



専用Facebookページ

「研修の具体的内容」「介護事業所様向けの情報」などの情報を定期的に配信します！



URL：<https://www.facebook.com/kaigo.keieiryoku/>



主催：福岡市

福岡市保健福祉局 高齢社会政策課 福祉人材係
旧) 介護保険課 福祉人材検討担当主査 (H31年度より組織変更)

委託先：株式会社 日本経営

➤ 研修スケジュール

全回13:00～17:00に実施

研修日	担当講師	内容
6月27日(木)	橋本竜也	オリエンテーション
		自己紹介・研修の進め方について
		経営の意義
		経営の目的の振り返り、永続的経営を支えるポイント
		経営者としての考え方
		リーダーとして求められる理念・価値感・判断基準など
7月23日(火)	田島一志	介護経営における数字力について
		社会福祉法人における会計のルール、特徴、決算書の体系など
		損益計算書の視点から見る経営
		損益分岐点売上と固定費、変動費の関係
		キャッシュフロー計算書の視点
		借り入れた運転資金の返済方法について
		貸借対照表の視点から見る経営
自己資本比率と資金繰りの関係性について		
8月23日(金)	太田昇蔵	事前講義
		ワークの前の確認
		経営シミュレーションゲーム「Change」の実施
		年間計画の策定、決算書の作成
		事後ワーク
		振り返りワーク等
9月27日(金)	木戸邦夫 太田昇蔵	外部から求められていることを適切に把握する
		地域連携マップの考え方、自法人の戦略の考え方
		自法人が取り組むべきことの明確化
		SWOT分析、経営計画の考え方、戦略キャンパスに基づく今後の取組み
		介護事業の生産性を高める経営力強化方法について
		組織管理・人材育成から考える経営改善の取組み
10月24日(木)	竹重俊文	自立支援に向けた介護事業所の取組みについて
		身体機能のリハビリから生活機能向上のためのリハビリ転換など
		2025年を見据えた、介護事業所のポイント
		経営者に求められる5つの視点、5つの視点に基づく施設の強化
11月29日(金)	松川竜也 村木茂満	これからの介護経営
		利用者の暮らし方について、地域包括ケアの考え方についてなど
		介護サービスマネジメントの高め方
		求められるもの、自立支援介護について、適切なニーズ把握とアプローチなど
12月20日(金)	吉岡由宇	介護業界で活用するITシステム
		ITを活用した、業務改善について
		ITデータから学ぶケアの質向上について
		現場で活用できるITシステムについて
1月17日(金)	山田一久 松浦総太郎	介護報酬改定から予測される今後の対策
		社会福祉法人における人的資産管理など
		介護業界に求められる人事制度の考え方
		採用活動と職員定着の考え方、これからの時代に求められる人事評価制度の考え方
		地域からも求められる法人の在り方
		年間6,000名訪れる法人の考え方
2月20日(木)	近藤武夫 松浦総太郎	超短時間労働とワーカーシェアリング
		介護施設における労働生産性向上について
		ケースワーク
		ある介護施設における人的分野の諸課題について
3月6日(金)	橋本竜也	全10回の振り返り、経営者としての誓い、研修修了証の配布など

講師紹介

講師名	役職等	資格・学位等	略歴
木戸邦夫	社会福祉法人援助会 聖ヨゼフの園 理事長	—	金融機関の支店長などを経て、14年前に現法人に出向。施設長・理事長を兼任。前職では人事部等で組織全体の人事管理や採用担当責任者などを務めた。聖ヨゼフの園では、組織管理や職員教育についての豊富な知識を生かして、施設の経営改善や人材育成を行っている。
吉岡由宇	社会福祉法人福智会 特別顧問	理学博士	大阪大学で学位取得後、物性物理の理論研究者として特任研究員を務める。介護システムNoticeの開発を通じて、介護現場の業務改善を目指す。
山田一久	社会福祉法人 スマイリングパーク 理事長	—	IT企業を経て、介護業界へ転職。きっかけは友人（身障1級）との登山。2002年社会福祉法人丸野福祉会（現社会福祉法人スマイリングパーク）特別養護老人ホームほほえみの園にて相談員、施設長を経て、理事長に就任。関わるみんなと一緒に組織を創り上げることを目指している。
近藤武夫	東京大学 先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 准教授	心理学博士	多様な人々、特に、通常の雇用機会から排除されがちな障害のある人々を、通常の企業に包摂するシステムの構築と地域社会への実装を行うプロジェクト「IDEAモデル」を提唱。超短時間雇用スキームにより、週あたり数時間程度のごく短い時間から、職務定義が明確なジョブ型雇用を目指す。現在までに、川崎市、神戸市、ソフトバンク株式会社と共同研究契約等に基づいた実践を展開し、多くの自治体や企業、メディアから関心が寄せられている。
竹重俊文	一般社団法人 地域ケア総合研究所 所長	—	24年間の地方行政での勤務経験を活かして、介護保険施行以前から長野県の民間医療機関にて、可能な限り街中で支える機能としての介護事業展開を実務的に実践。長野県・富山県の介護支援計画等策定委員を歴任し、地域住民参加型コミュニティづくりの経験も豊富。地域人材も巻き込んだ介護事業経営が強み。
松川竜也	沖縄県子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課 統括アドバイザー	主任介護支援専門員	社会福祉法人の法人本部長・主任介護支援専門員として厚生労働省の各種委員会・検討会にも委員として多数参加している。自立支援につながるケアプラン作成を強みとしている。
橋本竜也	株式会社日本経営 取締役	認定登録医業経営コンサルタント 登録番号7437号	入社後、人事コンサルティング部門に配属され、人事制度改革に携わる。2006年には半年間、調剤薬局に出向し、収益改善と組織改革を実現。コンサルティングにおいては、債務超過先の経営再建にも従事。組織の永続発展における人材育成というテーマでも高い成果をあげている。
太田昇蔵	株式会社日本経営 次長	修士（経営学） ：2005年西南学院大学大学院 MBA（経営学修士） ：2017年グロービス経営大学院	民間急性期病棟の医事課を経て入社。医療情報システム導入支援を皮切りに業務を行い、東京支社勤務時には医療関連企業のマーケティング支援を経験。現在は、医師人事評価制度構築支援やBSCを活用した経営計画策定研修講師、役職者研修講師を行っている。
松浦総太郎	株式会社日本経営 次長	福祉マネジメント修士（専門職） ：2014年日本社会事業大学大学院	社会福祉法人、民間の福祉機関を対象に70件以上の組織・人事改革実績を有する。人事制度構築をはじめ、管理職・一般職への教育にも従事している。社会福祉協議会、社会福祉事業団、各種団体での講演実績（累計20回以上）その他、各種団体での多数の講演実績がある。
田島一志	日本経営 ウィル税理士法人 課長	公認会計士	公認会計士として20数年のキャリアがある。大手監査法人、中小監査法人を経て、現職。現在、医療法人、社会福祉法人の会計担当を行っている。
村木茂満	株式会社日本経営 顧問	主任介護支援専門員	特別養護老人ホーム・デイサービス・小規模多機能など複数の施設を持つ大阪府下の社会福祉法人の統括本部長を経て弊社に入社。現在は、介護施設の経営指導や各種団体での講演を行っている。